

# 感謝をこめて・・・

平成21年12月

## 山口県における入札制度の改正についてのご報告

日々の忙しさに、師走の訪れを感じる今日この頃、皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、建設業は社会基盤の整備、暮らしの安心・安全の確保、災害時における緊急支援など、社会的に重要な使命があるにもかかわらず、長期にわたる景気の低迷と公共工事の削減などにより非常に厳しい状況にあります。特に低価格入札による影響は、業界全体を疲弊させる事態となっています。



そこで2年前、「公共工事の入札制度」に関するアンケート調査を、山口県建設業協会の役員53社と宇部市内の建設業者280社、合計333社に対して実施し、152社（46パーセント）から回答を頂きました。ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

アンケート調査の結果から、低価格入札の影響など業界の抱える課題の大きさと危機感を強く認識しました。県議会の一般質問では「土木建築行政について」の1問だけに絞り、集中的に質疑するなど、公共工事に対する積極的予算編成の要望と入札・契約制度の改正に取り組んで参りました。

今年7月に行われた入札制度の改正について、ご報告申し上げます。

ご意見ご要望をお聞かせ頂ければ幸いです。微力ではありますが、建設業出身の議員として、業界のご発展に寄与できればと願っています。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

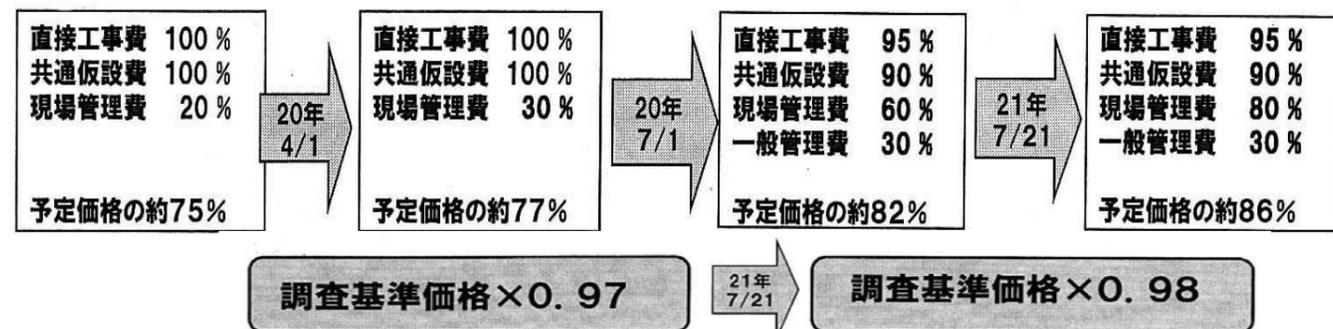
山口県議会議員 岡村精二

(一級建築士、一級土木・一級管工事、一級造園施工管理技士)

### 【調査基準価格と判断基準額の推移】

ダンピング入札の排除など入札・契約制度の見直しに取組み

- 平成19年11月：アンケート調査を実施（333社）。調査結果を基に4回、一般質問。
- 平成20年 7月：調査基準価格が約82%に引上げられ、判断基準額がその3%下となり、低価格入札に一定の歯止めが掛かりました。県が方向性を示したことで、市や町も同調の動きとなりました。
- 平成21年 7月：調査基準価格が約86%に引上げられ、判断基準額がその2%下となりました。国の調査基準価格を上回る引き上げです。アンケート調査を実施する時の目標が、85%でしたので、一応達せられましたが、さらなる引き上げを要望して参ります。



### 4. 平成21年7月改正の詳細

【現行】
○調査基準価格 ・直接工事費の95%+共通仮設費の90% +現場管理費の60%+一般管理費の30% (ただし予定価格の2/3~8.5/10の範囲内)
○判断基準額 ・調査基準価格の△3%

【改正】
○調査基準価格 ・直接工事費の95%+共通仮設費の90% +現場管理費の80%+一般管理費の30% (ただし予定価格の7/10~9/10の範囲内)
○判断基準額 ・調査基準価格の△2%
※実施時期：平成21年7月21日

### 【資料】

#### 1. 宇部土木建築事務所の事業量 (単位：百万円)

事務所名	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
宇部土木建築事務所	4,440	4,762	4,084	3,231	2,492
全事務所合計	90,480	82,654	75,619	69,402	67,439

新政権に代わり、県は来年度の予算編成の目処が、まったく立たない状況です。子ども手当、公立高校無償化、ガソリン税の廃止などの支出を考えると、公共工事の大幅な削減が予想されます。

#### 2. 宇部土木建築事務所の低価格入札の状況

事務所名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
宇部土木建築事務所	9	16	17	17	53
全事務所合計	40	100	196	333	495

#### 3. 予定価格と落札価格の比率 (過去3年)

	H18年度	H19年度	H20年度
件数	2,527	2,198	2,360
落札率	90.0	86.5	86.0

#### 4. 議員として：今後の課題への取組み

- 公共工事に対する積極的予算編成の要望  
「道路財源の確保」  
「地球温暖化対策としての住宅の断熱化工事」  
「防災対策と、公共施設の耐震化工事の促進」  
「中山間地域における公共事業の果たす役割」
- 公共事業の県内企業への優先発注  
「建設業の地産地消」
- 予定価格の事前公表の廃止  
6割以上が、予定価格の事前公表の廃止を要望。賛否もあり県では再度、調査を行っています。
- 低入札調査基準価格と判断基準額の引上げ
- 総合評価入札制度について  
制度の簡素化、特定企業に有利にならない制度改正。5%の差は、制度の活用で逆転するようにしたい。
- 建設業における労務費単価の引上げ

### 【お知らせ】

#### 「博士論文公聴会」のご案内

平成11年の高潮台風で宇部市が甚大な被害を受けた後、防災対策について学ぶため、山口大学大学院（防災システム工学科）に入学しました。

この度、提出した博士論文の本審査が終わり、公聴会が開催されることになりました。論文題目は「大災害を想定した早期設置型戸建てシェルターの開発と評価」です。

お忙しい時期とは存じますが、ご聴講頂けると幸いです。

日時：平成21年12月18日（金）  
午前9時～10時

場所：山口大学工学部（常盤台）  
(会場は正門に掲示されます)

※誰でも参加できます。  
当日、直接会場でお越し下さい。

お問合せ：岡村事務所 41-5435

